

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-----------|-----|------------|
| ○事業所名 | ぶちとまと事業所 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8年2月9日 | | 令和8年2月23日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 30名 | (回答者数) 30名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和8年2月1日 | | 令和8年2月17日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 15名 | (回答者数) 15名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年4月30日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 広いプレイルームがある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・外遊びやお出かけは季節や天候に左右されるが、室内でも十分な広さがあるため、安全に身体を使った活動や遊びを提供することができる。 ・動と静の活動を同時に安全に楽しむことが出来るように、スペースを区切っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・広さを活かした活動内容の充実を図り、子どもたちに色々な遊びを提供していく。 ・必要に応じて遊具や教材を購入し、来所の楽しみにつなげていく。 |
| 2 | 活動プログラム | <ul style="list-style-type: none"> ・平日は下校時間によって来所時刻が異なるので活動内容に制限がかかるが、代休や長期休暇を利用して、日頃時間が足りず出来ない「市外の大きな公園や施設へのお出かけ」「クッキング」「おやつ作り」「昼食のお買い物や外食体験」などを実施し、出来るだけ利用する子どもたちがいろいろな経験できるように工夫してプログラムを組んでいる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今は送迎車でのお出かけが中心なので、公共交通機関を利用したお出かけも検討したい。 ・外食、お買い物体験の行き先も広げて行く。 ・自分で食べるもの、買う物をその場にある物から選ぶという体験を積み重ねていきたい。 |
| 3 | 職員、相談支援員との情報共有や連携システム | <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ間でLINEや情報共有ノートなどを活用して情報共有をおこなっている。 ・同法人に相談支援事業所があるので、相談員ともすぐに連携を取り合っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後もご家庭や相談支援員と連携を図りながら、子どもたちにとってより良い支援となるよう取り組む。他事業所の相談支援員とも定期的に連携を取り合って、同様に取り組んでいきたい。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 父母の会の活動ときょうだい支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者向け勉強会や交流会を年に各1回行ったが、交流となる時間が足りていない。 ・きょうだい向けイベントの開催方法。 | <ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動内容や子どもたちの成長をお伝えしたり、保護者、スタッフで何気ないお喋りなどで交流する機会をつくる。 ・どなたにも参加して頂きやすい環境作りについて検討していく。 |
| 2 | 地域に開かれた事業運営や放課後児童クラブとの交流や、地域の他の子どもと活動する機会を設けることができていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・どんな方が来られるのかわからない状況で、安全面や感染症のリスクを考慮し、校区のイベントへの参加しかできていないのが現状。 | <ul style="list-style-type: none"> ・校区のイベントへはスタッフの参加のみなので、子どもたちが作った物を自分達で販売するという経験につなげたいという思いがあるが、安全面についての検討が必要。 |

| | | | |
|--|--|--|--|
| | | | |
|--|--|--|--|